

“「ME 新潟の会」発足”

平成 28 年 3 月 26 日（土）に ME 受講生 33 名参加により発足総会を開催しました。

ME 新潟の会 発足総会 議事次第

場 所 新潟大学駅南キャンパスときめいと
日 時 3 月 26 日 17:00～18:00

- 1 挨拶 丸山 久一インフラ再生技術者育成新潟地域協議会長
- 2 ME 新潟の会の趣旨説明
- 3 規約案の提案・審議
- 4 役員を選出
- 5 会長挨拶 荒木 ME 新潟の会会長
- 6 28 年度活動計画案の提案・審議 若月 事務局長
- 7 その他連絡事項 若月 事務局長



受付状況



総会全景



丸山協議会長あいさつ



荒木会長あいさつ



活動計画提示 (若月事務局長)



ME新潟の会 平成28年度活動計画

○清掃活動

- ・最終目標は上・中・下越の分散開催ですが、まだメンバーの少ないエリアがあるので、今年度も新潟で8月の「道路を守る月間」に合わせ実施する。

○第2回防災、第3回構造のME講座の支援

- ・各回とももう少し人数を増やせればよいかと…

○新潟県の市町村管理の公共施設の押しかけ点検

- ・三条市または見附市を対象として
- ・土曜日開催の方がよいのかもしれませんが。

○居住地周辺の「ME新潟点検シート」による構造物点検

- ・3か月間に1回程度、各自実施して事務局に提出

○現場見学会

- ・289号に行ったので今年は他の現場を！

○整備局、県、市、建協主催のイベントでの情報発信

- ・来年度地整で橋梁保全会議が開催？されるとの噂があるのですが、MEの趣旨や活動内容を紹介したパネルを展示し周知活動を実施しては？
- ・代表者による報文発表

○親善ゴルフコンペ

- ・春、秋の2回開催予定

技術力を地域に還元

官民の垣根越え実効高める

「ME（メンテナンスエキスパート）新潟の会」の初代会長に就任した荒木克氏。有資格者の受け皿として、26日に発足したばかりだが、資格取得に向けて苦楽をともにした経験から、官民の垣根を越えたつながりが既に構築されつつある。2016年度に国土交通省の民間技術者資格の登録へと動き出すことを見据え、その連携に実効性を持たすのが同会の目的だ。荒木氏に今後の活動などを聞いた。

ME新潟の会 荒木 克会長に聞く



——発足の経緯は

「行政機関、地域建設業、建設コンサルタントと立場の違う技術者がME新潟を通じて同志になることができた。わたし自身もそうだが、他の有資格者もこのネットワークを生かしたい

との思いが強く、設立に至った」

「MEの育成に関して先進的な岐阜県や長崎県では同様の体制が整っており、それも後押しとなった」

——今後の方向性について

「土木構造物の維持管理の専門家として身に着けた知識・技術力を地域社会に還元したい。そのためには、行政機関と点検・維持補修を請け負う（コンサルタント、建設）企業がウィン・ウィンの関係でなければならぬ。例えば、道路管理者は道路構造物の老朽化対策が進み、受注者は収益を生む仕事につながっていく、その循環が将来的に不可欠だろう」

「ME新潟には国や新潟県、県内市町村の職員もいるので、受発注者双方の考えを共有できるのも利点だ」

——ME新潟自体の存在価値を高める必要があるのでは

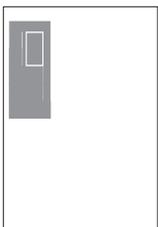
「国土交通省の民間技術者資格として『お墨付き』がもらえれば、国交省発注業務の入札参加資格や受注者選定時の評価項目として原則活用される。大きな転機となり得る。ただ、当然ながら、自治体が管理する土木構造物もある。民間技術者資格の登録を足がかりに、県や市町村でもME新潟の活用を視野に入れてもらえればと考えています」

「岐阜県では小規模橋梁の点検・修繕業務について、ME認定者の活用を参加要件としている。さらに、MEの養成講座を受ける場合は、施工中の現場の監理技術者であっても受講期間中は担当変更を認めている。実践、育成の両面から積極的に支援している」

——具体的な活動は

「（ME新潟には）自治体の職員がいるので、その地域の橋梁などを実際に点検し、結果を報告したい。また、萬代橋の清掃・点検、後進養成の支援、現場見学会、北陸橋梁保全会議での活動報告などを計画している」

「1、2期生が誕生し、16年度には3期生が加わる。横のつながりだけでなく、縦のつながりも強化したい」



2016年(平成28年)3月29日(火曜日)



守り手として高い意識

「ME新潟の会」が発足

ME新潟の会の発足総会が26日、新潟市中央区の新潟大

駅南キャンパス「ときめいと」で開かれた。旗揚げにはME新潟1、2期生約30人が参加し写真。有資格者同士の連携

を強化し、活動の実効性を高める取り組みが本格化する。会合では冒頭、インフラ再生技術者育成新潟地域協議会の丸山久一会長があいさつ。「自分たちの地域は自分たちで造る、守る」ことを共通理念としながら「発注者と受注者の垣根を越えて切磋琢磨して

ほしい」とエールを送った。

議案審議では、荒木克氏を初代会長に選任した。2016年度の活動計画によると、▽道路を守る月間に合わせた清掃活動▽後進養成の支援▽県内市町村での土木建造物の自主点検▽ME新潟点検シートによる土木建造物の点検▽現場見学会▽イベントでの情報発信——などを予定している。

ME新潟は、16年度の民間技術者資格登録(国交省登録)を目指している。